

## 「別紙」

### 印西市環境審議会からの意見

#### ■基本目標 1（自然環境）

緑や水辺が身近に感じられる、自然と共生するまちを目指して

- 1 都市と自然が残る里山が寄り添った本市の魅力を発信するとともに、市民団体や事業者さらに市民の協力のもと、その保全と維持管理に努められたい。
- 2 結縁寺地区が「日本の里山 100 選」に選ばれていることから、本市の豊かな里山や水辺について、広くPRを行うとともに、その保全と維持管理に努められたい。
- 3 里山や水辺の生態系や希少種を守るとともに、イノシシやカミツキガメ等の有害鳥獣、外来生物の更なる対策を検討されたい。
- 4 里山の自然の維持は望ましいが、ボランティアの活動のみに期待するには過大な労力が必要と考える。何らかの経済的な活動を伴うような施策を検討されたい。
- 5 カミツキガメやイノシシ等の捕獲数が毎年増加傾向にあることから、生物多様性地域戦略の策定について早急に検討されたい。
- 6 遊休農地の活用の推進と、低農薬・有機栽培の農法を進め、食の安心・安全を広められたい。
- 7 メガソーラーの設置箇所については、道路際に常緑樹を植えるよう指導を検討されたい。
- 8 豊かな緑と水辺について、もっと積極的に広められたい。

#### ■基本目標 2（生活環境）

安心・安全に暮らせる、環境に負荷を与えないまちを目指して

- 1 安心・安全な生活基盤となる放射線による環境汚染の情報発信や環境基準を達成していない光化学オキシダントの監視に努め、その対策を検討されたい。
- 2 放射線情報は風化させることなく、定期的に測定し公開すること。また、市内幼稚園、各学校等については2ヶ月に一度、測定し公開するよう努められたい。
- 3 街路樹や公園の樹木や花壇などに使用する薬剤については、アレルギー等に配慮したものを使用し、必要最低限の使用に努められたい。
- 4 湖沼については、まだ環境基準をクリアしていないことから、早急に水質浄化対策を検討されたい。
- 5 手賀沼の水産品の出荷制限が続いている。近隣市や大学などと連携して、沼や接続する水路の底土の汚染状況などの調査を検討されたい。

#### ■基本目標 3（都市環境）

都市としての魅力があふれる、快適なまちを目指して

- 1 街中でのポイ捨ては草が伸びているため、捨て易い環境にある。草刈に力を入れ、ポイ捨てや犬のフンの放置等の防止に努められたい。
- 2 木下交流の杜歴史資料センターを有効的に活用していくために、魅力ある講座等の開催やPRなど、積極的な取り組みを検討されたい。
- 3 自然に関する活動や歴史文化に関する活動で、特に地域の子供達関わっているものに、より積極的な連携と支援に努められたい。
- 4 自然に関する活動や歴史・文化（スポーツも含む）に関する活動を行う市民団体や

事業者さらに市民に対して、より積極的な連携と支援に努められたい。

- 5 条例の施行でゴミのポイ捨てなどが禁止された事もあって、街中のゴミは減ってきているように感じられる。清掃活動をする人達の積極的な支援に努められたい。
- 6 ゴミゼロ運動は多くの団体が協力して実施できるよう、より効果的な運動を推進されよう検討されたい。
- 7 活動を推進している市民団体に対して、より積極的な支援に努められたい。

#### ■基本目標 4（地球環境）

低炭素社会の構築に向けた、地球環境に負荷を与えないまちを目指して

- 1 温室効果ガスの排出の削減を行う「緩和」と共に市民生活や生態系を守る「適応」（治水対策、治水対策、熱中症予防対策他）についても検討されたい。
- 2 温暖化対策として、公共機関のグリーンカーテンの設置だけでなく、一般市民にも広く苗を支給することを検討されたい。
- 3 再生可能エネルギーの情報収集とその発信および公共施設への導入を検討されたい。
- 4 メガソーラーの発電効率の調査を検討されたい。また、住宅用ソーラーパネルの取り付け業者に対し、技術水準を満たす業者は市の認定を出すことを検討されたい。
- 5 生ごみの焼却処理について、徹底した減量化と堆肥化を推進させる具体策を検討されたい。
- 6 3Rを推進するためにも、クリーンセンターの施設見学の機会を増やす等、啓発活動の充実を検討されたい。
- 7 車の使用を減らし、燃費効率の良い車にしていく。また、公共交通機関の利用を推進することで、低炭素社会を実現し、光化学オキシダントの抑制に努められたい。

#### ■基本目標 5（人づくり）

環境配慮行動の実践者を拡大し、みんなで環境を育てるまちを目指して

- 1 公園や学校など身近にある環境（例えば樹木やグリーンベルトに生える植物）の植栽の管理は、環境学習の教材でもあることを考慮して管理するよう努められたい。
- 2 中高生を対象に将来の環境像を提言してもらおうワークショップの設置を検討されたい。
- 3 各学校で取り組んでいる環境学習の取組状況をまとめ、情報発信することで、市民の意識高揚に努められたい。
- 4 市民がいつでも利用できる、あるいは活用できる。市民の環境団体リストの紹介や文化財の周知・普及活動を一層推進されたい。
- 5 夏休み等の長期休業を利用して、子供たちの自由研究のヒントになるような、環境イベントの開催を検討されたい。
- 6 暮らし易い環境が住民の努力で整備できる事を紹介し、情報交換の場を提供するなど、環境行動に積極的に参加することを促す提案を検討されたい。
- 7 小中学校の学習の一環として植生の調査を行い、アレルギーの原因になる雑草については早めに除草するなど、望ましい植生に変えていくような施策を検討されたい。